

日野用水開削450周年記念特別展

～日野人が守り育てた緑と清流～



私たちが食べているお米。米作りにはたくさん水を必要とします。米作りのために田んぼに引かれた人工の川、それが用水です。かつての日野は、多摩の米倉「嫁に行くなら日野に行け」と言われた程、米作りが盛んな土地柄でした。それを物語るかのように、市内には網の目のように用水が張り巡らされています。この豊かさを生み出した源が、今年開削450周年を迎えるといわれる日野用水なのです。

江戸時代の元禄16年(1703)「挨拶目録」によれば、日野用水は、戦国時代の永禄10年(1567)に、佐藤半人が北条氏照から罪人をもらい受けて整備したと言われています。

展示では、市内用水の歴史の変遷を発掘調査の成果や古文書等からたどるとともに、様々な生命を育んできた用水の自然、昭和30年代以降の水辺環境の変化に伴う用水を取り戻す取り組みについて紹介します。



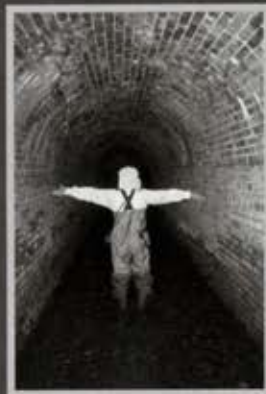
コサギ(豊田用水)

岩井満夫氏撮影



日野用水で釣りをする子どもたち(昭和31年)

山本昭三氏撮影、鈴木藤隆氏所蔵



JR日野駅直下にある
山下堀の日野煉瓦造トンネル

井上博司氏撮影

会期中の催し(協力 緑と清流課、カワセミハウス)

- ①10/28(土) 講演会「日野市域を流れる用水の謎～その開削時期を考える」(定員80名)
講師 渋江芳浩氏(あきる野市文化財保護審議会委員)
会場 日野市役所505会議室 14時～16時
- ②10/29(日) 子ども集まれ よそう森堀で遊ぼうー用水生き物探しー
(9時30分～12時)(定員20名)
- ③11/23(木 祝) 見学会「JR日野駅直下、日野煉瓦造の山下堀アーチコルベルトに潜る」午前 午後各回先着14名
- ④11/25(土) バス利用見学会「グルッと日野用水ひとまわり」
(先着20名、1日コース9時30分～16時)

※9/5(火)午前9時から電話で日野市郷土資料館 ☎042-592-0981へ申し込み。

<日野用水開削450周年記念シンポジウム>

「日野用水450年ー昨日と今日・そして明日へー」

10/15(日)13時～16時15分 於 ひの煉瓦ホール(市民会館)※直接会場へ問合せ先 日野市緑と清流課 TEL代表 042-514-8309



開館時間

午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日

毎週月曜日(10/9(祝)は開館、10/10(火)は休館)

入館料

大人 200円、小・中学生 50円

交通

JR中央線日野駅より徒歩15分
もしくは、日野駅より高幡不動行きバス「日野七小入口」下車徒歩5分
京王線高幡不動駅より日野駅行きバス「日野七小入口」下車徒歩5分

【主催・問合せ先】

日野市郷土資料館

〒191-0042 東京都日野市程久保550番地 ☎042-592-0981
HP <https://hino-museum.jp/> E-mail museum@city.hino.lg.jp